

看護師特定行為研修 募集要項

2023 年度



順天堂大学 医学部 附属 静岡病院

JUNTENDO UNIVERSITY SHIZUOKA HOSPITAL

I. 研修概要

1. 研修理念・目標

順天堂大学医学部附属静岡病院看護師特定行為研修の基本理念は、学校法人順天堂の学是「仁」、理念「不断前進」の精神に基づき、すべての人々を慈しみ思いやりをもって、高度急性期医療、地域医療に貢献できる看護師を育成することを目標とします。

看護師特定行為研修は、専門職としての倫理観、自律した判断の基、患者の身体・心理・社会・生活背景を踏まえた上で、診療の補助業務をおこなう能力を身に付けます。すなわち受講生においては、病態に基づき、医師や他の医療専門職と十分なコミュニケーションの下、ディスカッションができ、治療方針の理解と、特定行為における医療安全の担保を得た上で行為に及ぶことができる知識・技術の習得を目指します。

2. 開講する特定行為区分と募集定員

| 特定行為区分 | | 定員 | 総定員 |
|----------|----|--------------------|-----|
| 区分別科目 | 1 | 呼吸器(気道確保に係るもの)関連 | 5人 |
| | 2 | 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 | 5人 |
| | 3 | 創傷管理関連 | 3人 |
| | 4 | 動脈血液ガス分析関連 | 5人 |
| | 5 | 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 8人 |
| | 6 | 創部ドレーン管理関連 | 5人 |
| | 7 | 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | 5人 |
| 領域別パッケージ | 8 | 術中麻酔管理領域パッケージ | 3人 |
| | 9 | 救急領域パッケージ | 3人 |
| | 10 | 集中治療領域パッケージ | 2人 |
| | | | 20人 |

応募が各定員を超えた場合は、選考試験の結果により選抜を行います。区分別科目は1～7区分を自由に選択できます。パッケージについて、「術中麻酔管理領域パッケージ」及び「救急領域パッケージ」は他区分別科目と同時に受講できません。「集中治療領域パッケージ」は「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」のみ同時に受講可能です。

3. 研修期間

2023年4月1日(土)～2024年3月31日(日) 12ヶ月

※ただし、実習において修了判定に必要な症例数に満たない場合、延長となる場合があります。

4. 履修科目と時間数

講義は「全日病S-QUE研究会」提供のeラーニングとなります。なお、臨地実習は所属する施設にて行います。

① 共通科目

| 共通科目 | 研修時間 | 研修方法 | 評価方法 |
|--------------|-------|------------------------|-----------------|
| 臨床病態生理学 | 30 時間 | 講義 演習 | 筆記試験 |
| 臨床推論 | 45 時間 | 講義 演習 実習(医療面接) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| フィジカルアセスメント | 45 時間 | 講義 演習 実習(身体診察手技) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| 臨床薬理学 | 45 時間 | 講義 演習 | 筆記試験 |
| 疾病・臨床病態概論 | 40 時間 | 講義 演習 | 筆記試験 |
| 医療安全学／特定行為実践 | 45 時間 | 講義 演習 実習 | 筆記試験 実習の観察評価 |

② 区分別科目

| 区分別科目 | 研修時間 | 研修方法 | 評価方法 | |
|--------------------|------------------------------|-------|----------------------|-------------------------------|
| 呼吸器(気道確保に係るもの)関連 | 基礎知識 | 5 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 12 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実技試験(OSCE) 実習の観察評価 |
| 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 | 基礎知識 | 6 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 侵襲的陽圧換気の設定の変更 | 12 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| | 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 | 12 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| | 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 | 12 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| | 人工呼吸器からの離脱 | 12 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| 創傷管理関連 | 基礎知識 | 13 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 | 21 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実技試験(OSCE) 実習の観察評価 |
| | 創傷に対する陰圧閉鎖療法 | 14 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 基礎知識 | 6 時間 | 講義 | 筆記試験 |

| | | | | |
|-------------------|----------------------|-------|-----------------------|--------------------------------|
| | 直接動脈穿刺法による採血 | 11 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実技試験 (OSCE) 実習の観察評価 |
| | 橈骨動脈ラインの確保 | 11 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実技試験 (OSCE) 実習の観察評価 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 基礎知識 | 7 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 | 11 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| | 脱水症状に対する輸液による補正 | 11 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| 創部ドレーン管理関連 | 基礎知識 | 3 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 創部ドレーンの抜去 | 9 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | 基礎知識 | 7 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | インスリンの投与量の調整 | 16 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |

③ 領域別パッケージ

| 術中麻酔管理領域パッケージ | | 研修時間 | 研修方法 | 評価方法 |
|--------------------|----------------------------|-------|-----------------------|--------------------------------|
| 呼吸器(気道確保に係るもの)関連 | 基礎知識 | 5 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 12 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実技試験 (OSCE) 実習の観察評価 |
| 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 | 基礎知識 | 6 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 侵襲的陽圧換気の設定の変更 | 11 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| | 人工呼吸器からの離脱 | 11 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 基礎知識 | 6 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 直接動脈穿刺法による採血 | 11 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実技試験 (OSCE) 実習の観察評価 |
| | 橈骨動脈ラインの確保 | 11 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実技試験 (OSCE) 実習の観察評価 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 基礎知識 | 7 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 脱水症状に対する輸液による補正 | 10 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| 術後疼痛管理関連 | 基礎知識 | 5 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整 | 9 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| 循環動態に係る薬剤投与関連 | 基礎知識 | 9 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 | 10 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |

| 救急領域パッケージ | | 研修時間 | 研修方法 | 評価方法 |
|--------------------|------------------------------|-------|----------------------|-------------------------------|
| 呼吸器(気道確保に係るもの)関連 | 基礎知識 | 5 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 12 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実技試験(OSCE) 実習の観察評価 |
| 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 | 基礎知識 | 6 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 | 11 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| | 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 | 11 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| | 人工呼吸器からの離脱 | 11 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 基礎知識 | 6 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 直接動脈穿刺法による採血 | 11 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実技試験(OSCE) 実習の観察評価 |
| | 橈骨動脈ラインの確保 | 11 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実技試験(OSCE) 実習の観察評価 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 基礎知識 | 7 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 脱水症状に対する輸液による補正 | 10 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 | 基礎知識 | 15 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 抗けいれん剤の臨時的投与 | 12 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |

| 集中治療領域パッケージ | | 研修時間 | 研修方法 | 評価方法 |
|-----------------------------|------------------------------|-------|----------------------|-------------------------------|
| 呼吸器(気道確保に係るもの)関連 | 基礎知識 | 5 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 12 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実技試験(OSCE) 実習の観察評価 |
| 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 | 基礎知識 | 6 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 侵襲的陽圧換気の設定の変更 | 11 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| | 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 | 11 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| | 人工呼吸器からの離脱 | 11 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| 循環器関連 | 基礎知識 | 5 時間 | 講義 | |
| | 一時的ペースメーカーの操作及び管理 | 9 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連 | 基礎知識 | 4 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 中心静脈カテーテルの抜去 | 10 時間 | 講義 演習 実習(5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |

| | | | | |
|---------------|-------------------------------|-------|-----------------------|--------------------------------|
| 動脈血液ガス分析関連 | 基礎知識 | 6 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 橈骨動脈ラインの確保 | 11 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実技試験 (OSCE) 実習の観察評価 |
| 循環動態に係る薬剤投与関連 | 基礎知識 | 9 時間 | 講義 | 筆記試験 |
| | 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 | 9 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| | 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 | 9 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |
| | 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 | 10 時間 | 講義 演習 実習 (5 症例) | 筆記試験 実習の観察評価 |

5. 実習施設について

臨床実習の場所は、原則、受講生の所属施設で行います。研修修了後に特定行為を実践していく為に、実習中から継続した指導体制が重要であるため、所属施設での実習を推奨しております。

なお、所属施設で実習を行うには、当院の「協力施設」として、厚生労働省への申請手続きが必要となります。「協力施設」の要件は下記となります。また、症例数など要件が満たない場合は、事務局まで事前にご相談下さい。「協力施設」の申請は 4 月以降になりますので、それまでに下記の要件を整えるようお願い致します。

<協力施設の要件>

(1) 臨床実習の指導者を確保できること。

指導者の主な要件

- ① 少なくとも医師を含むこととし、その他の指導者も、医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の医療関係者であること。
- ② 臨床経験が 7 年以上であること。
- ③ 医師の場合、臨床研修指導医と同等以上の経験を有すること。

(2) 所属施設の医療安全体制を構築していること。

(3) 緊急時の対応体制を構築していること。

(4) 患者への同意説明体制がとれること。

(5) 該当症例数の確保等の要件 (1 受講生につき 5 症例以上) を満たす体制であること。

※合格した場合、書類作成についてのご連絡を致します。

6. 修了要件

本研修を修了するには、次の条件を満たす必要があります。

(1) 共通科目を全て履修し、筆記試験及び観察評価に合格すること。

※共通科目修了後、他の特定行為研修指定機関で研修を受ける場合に備え、共通科目修了証明書を発行します。

- (2) (1)を修了し、選択した区分別科目を履修し、筆記試験、観察評価及び実技試験に合格すること。
 ※特定行為研修修了後は修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

7. 履修免除

共通科目及び区分別科目において、下記の条件を満たせば履修免除を行う。

(1) 対象

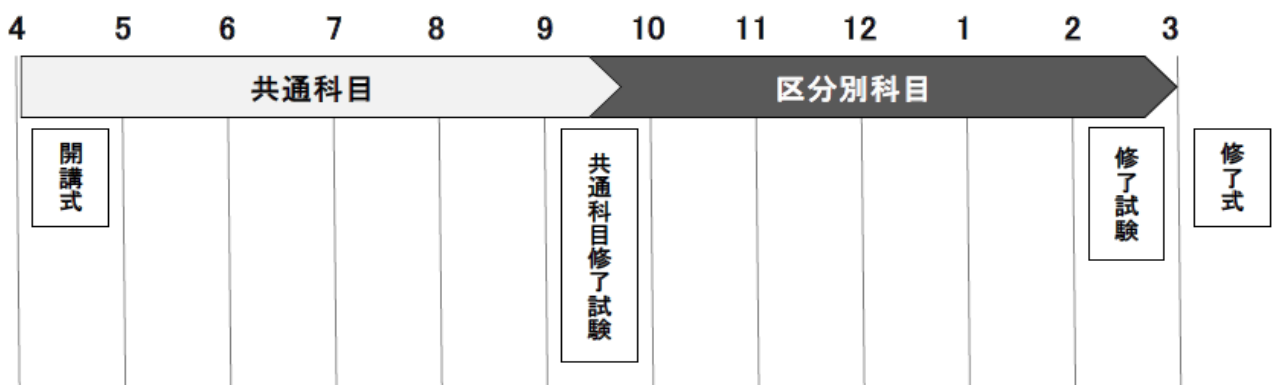
順天堂大学医学部附属静岡病院より、看護師特定行為研修の受講許可を得たもので、共通科目、あるいは区分別科目を履修しようとするもの。

(2) 確認方法

- ① S-QUE 研究会® など特定行為研修の学習内容を含んだ e-ラーニングの受講者に関して、研修修了証明書あるいは研修修了証を確認する。
- ② 面接時に履修免除とする該当科目の知識の理解度を確認し、筆記試験を行ったうえで研修管理委員会にて承認を得る。

8. 受講スケジュール(モデル)

共通科目、区分別科目の受講スケジュールの概要は、下記のとおりとする。



- 集合研修(演習、OSCE)を行う研修日は、2週間に1日の頻度で設けております。研修日は当院で行います。研修日以外は、自分のペースで働きながら自宅などで e-ラーニング(講義)の受講が出来ます。
- 研修日についても、研修内容によっては、web 会議ツールを使用し、自宅のパソコンで研修が受講できる体制も整えております。

Ⅱ.募集要項

1. 応募資格

出願するにあたり、次の各号を全て満たすこと。

- (1) 日本国内における看護師免許を有すること
- (2) 看護師免許取得後、5年以上の実務経験を有し、そのうち3年以上は専門分野であること
- (3) 勤務している場合、所属長(看護部長又は同等職位の所属長)の推薦を有すること

2. 選考方法

- (1) 書類選考
- (2) 筆記試験
- (3) 面接試験

3. 出願書類

- (1) 受講願書(様式1)
- (2) 勤務している場合、所属長(看護部長又は同等職位の所属長)の推薦書(様式2)
- (3) 履歴書(様式3)
- (4) 看護師免許(A4サイズ写し1部)
- (5) 専門看護師・認定看護師等などの認定証、大学院などの学位記など証明となるもの(A4サイズ写し各1部)
- (6) 履修免除願(様式4)および「修了証」等履修を証明する書類の写し※該当者のみ
- (7) 特定行為研修受講審査料 20,000円

※上記の提出書類(1)～(6)は返却いたしません。

審査料振込先: 銀行名 スルガ銀行 伊豆長岡支店

口座名義 順天堂大学医学部附属静岡病院院長 佐藤 浩一

口座番号 普通 555642

※振込は、受験者本人のお名前でお振込下さい。

※振込手数料はご本人様の負担とさせていただきます。

※振込用紙コピーを様式1に添付し、ご提出下さい。

※院内応募者は会計課でご納付下さい。

4. 書類提出方法

上記3. の書類一式を、下記担当宛に郵送願います。

(院内応募者は審査料をご納付した後、下記事務局までご持参下さい。)

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡 1129 番地

順天堂大学医学部附属静岡病院 看護師特定行為研修センター 宛

問い合わせ先: TEL 055-948-3111(内線 3133)

5. 書類提出期間

2022年10月18日(火) ~ 2022年10月31日(月) 必着

6. 選考試験

筆記試験 : 2022年12月9日(金)

面接 : 2022年12月9日(金)

試験会場は当院となります。

出願書類及び審査料の受理後、詳細をご連絡いたします。

7. 選考結果

2022年12月中に、事務局より合否を、書面にて通知いたします。

8. 入講手続

合否通知の際に、詳細をご案内します。

入講にあたっては、必要がある場合、当院が指定する賠償責任保険に加入していただきます。

合格者は、次項に定める入学金及び受講料を通知文に記載してある期日までにお手続きください。

尚、4月上旬に開講式を執り行う予定です。

9. 入学金及び受講料

(1) 入学金 30,000円

(2) 受講料 希望する科目の受講料の合計額

| 科目 | | 受講料 |
|----------|--------------------|----------|
| 共通科目 | | 170,000円 |
| 区分別科目 | 呼吸器(気道確保に係るもの)関連 | 22,000円 |
| | 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 | 60,000円 |
| | 動脈血液ガス分析関連 | 51,000円 |
| | 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 40,000円 |
| | 創傷管理関連 | 135,000円 |
| | 創部ドレーン管理関連 | 20,000円 |
| | 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | 40,000円 |
| 領域別パッケージ | 術中麻酔管理領域パッケージ | 220,000円 |

| | | |
|--|-------------|----------|
| | 救急領域パッケージ | 230,000円 |
| | 集中治療領域パッケージ | 250,000円 |

※受講料には、演習・実習費、施設使用料を含みます。

※教科書等の教材が別途必要となる場合がございます。(自己購入)

※一旦納めた受講料は、原則として返還しません。

※研修のための交通費等は実費負担です。

10. 支援制度(院内受講生のみ)

- (1) 院内の受講生に対しては、経済的負担を軽減する為、看護師特定行為研修受講料貸与要領に準じて、授業料を貸与する制度があります。